



新元号「令和」

ガッチをお買い上げ

神奈川県型の型枠工事会社、株式会社加納工務店様に、「ガッチ」の関東版の2'x6'版をお買い上げいただきました。まことにありがたく、深く感謝と御礼を申し上げます。従来の合板型枠では限界が見えつつあると、樹脂型枠の「ガッチ」に目をつけていただいた先見性に対して、当社も新たな責任と義務を背負ってより一層の努力を行い、さらに良い商品として育てていかねばなりません。



元号の出典
政府の説明によれば、令和の出典は、日本の歌集である『万葉集』巻五の「梅花の歌三十二首 序文」にある以下の文章。「梅花の宴」として知られている場面の一部である。「初春の令月にして、氣淑く風和ぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫す。」

現代語訳
時あたかも新春の好き月(よきつき)、空気は美しく風はやわからに、梅は美女の鏡の前に装う白粉(おしろい)のごとく白く咲き、蘭は身を飾った香の如きかおりをただよわせている

出典が判明している元号の中では、日本古典に由来する元号は史上始めてだそうです。

しかしながら、日本の古典というものは、中国の古典に由来しているものが多く、今回の「令和」にしても、基を探せば中国古典だとの指摘もあり、学識者の中で論争が起きているとの報道もありました。

いずれにしても、元号が変わり、

平成から令和に代わるのは、時代のひとつの象徴でもあります。

最近では年号には西暦が使われることが多く、元号が使用されることは、今後も減少していくと予想されます。日本人として長く親しんできた元号が使われなくなることは寂しい気もしますが、コンピュータが社会に無くてはならない物になった今、それは仕方のないことかもしれません。

何十年かの単位で、どう変化するかわからない元号は、コンピュータのプログラムには利用できないと言って良いでしょう。規則性・再現性というコンピュータにとって最も重要な現象にあい反するのが元号です。

明治・大正・昭和・平成・令和と続く元号ですが、それを言葉や文字にするだけで、なんとなく時代のイメージが沸いてきます。

西暦にはない言葉の趣があり、日本人の心情になじむ元号。

「令和」の時代が、フォービルにとって、更なる発展期となるように、頑張っていきたいと思います。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

やっぱり整理・整頓

人間の能力は鍛えると伸びるとはいえ、やはりどこかには限界があります。限られた能力と言え、語弊があるかも知れませんが、それでも能力には限界があります。

限られた能力は有効に使わねばなりません。その基本が整理整頓にあります。情報・モノ・金、いずれにしても

整理整頓をきちんと行うことで見やすくなります。不要なモノを捨て、必要なものだけを得るようにします。そうすると、間違いが少なくなります。

整頓を行って、順序づけやルール付けを行うことによって、さらに仕事の効率は向上します。

今月も事故がありませんように。(拝)

2019年 安全成績

■現場災害 2019.1.1-4.7

休業災害	-----	0
不休災害	-----	0
物損災害	-----	0
その他	-----	0
合計	-----	0

■交通災害 2019.1.1-4.7

人身災害	-----	0
物損災害	-----	0
合計	-----	0



新元号「令和」

ガッチをお買い上げ

神奈川県型の型枠工事会社、株式会社加納工務店様に、「ガッチ」の関東版の2'x6'版をお買い上げいただきました。まことにありがたく、深く感謝と御礼を申し上げます。従来の合板型枠では限界が見えつつあると、樹脂型枠の「ガッチ」に目をつけていただいた先見性に対して、当社も新たな責任と義務を背負ってより一層の努力を行い、さらに良い商品として育てていかねばなりません。



元号の出典
政府の説明によれば、令和の出典は、日本の歌集である『万葉集』巻五の「梅花の歌三十二首 序文」にある以下の文章。「梅花の宴」として知られている場面の一部である。「初春の令月にして、氣淑く風和ぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫す。」

現代語訳
時あたかも新春の好き月(よきつき)、空気は美しく風はやわからかに、梅は美女の鏡の前に装う白粉(おしろい)のごとく白く咲き、蘭は身を飾った香の如きかおりをただよわせている

出典が判明している元号の中では、日本古典に由来する元号は史上始めてだそうです。

しかしながら、日本の古典というものは、中国の古典に由来しているものが多く、今回の「令和」にしても、基を探せば中国古典だとの指摘もあり、学識者の中で論争が起きているとの報道もありました。

いずれにしても、元号が変わり、

平成から令和に代わるのは、時代のひとつの象徴でもあります。

最近では年号には西暦が使われることが多く、元号が使用されることは、今後も減少していくと予想されます。日本人として長く親しんできた元号が使われなくなることは寂しい気もしますが、コンピュータが社会に無くてはならない物になった今、それは仕方のないことかもしれません。

何十年かの単位で、どう変化するかわからない元号は、コンピュータのプログラムには利用できないと言って良いでしょう。規則性・再現性というコンピュータにとって最も重要な現象にあい反するのが元号です。

明治・大正・昭和・平成・令和と続く元号ですが、それを言葉や文字にするだけで、なんとなく時代のイメージが沸いてきます。

西暦にはない言葉の趣があり、日本人の心情になじむ元号。

「令和」の時代が、フォービルにとって、更なる発展期となるように、頑張っていきましょう。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

やっぱり整理・整頓

人間の能力は鍛えると伸びるとはいえ、やはりどこかには限界があります。限られた能力と言え、語弊があるかも知れませんが、それでも能力には限界があります。

限られた能力は有効に使わねばなりません。その基本が整理整頓にあります。情報・モノ・金、いずれにしても

整理整頓をきちんと行うことで見やすくなります。不要なモノを捨て、必要なものだけを得るようにします。そうすると、間違いが少なくなります。

整頓を行って、順序づけやルール付けを行うことによって、さらに仕事の効率は向上します。

今月も事故がありませんように。(拝)

2019年 安全成績

■現場災害 2019.1.1-4.7

休業災害	-----	0
不休災害	-----	0
物損災害	-----	0
その他	-----	0
合計	-----	0

■交通災害 2019.1.1-4.7

人身災害	-----	0
物損災害	-----	0
合計	-----	0